

# TOTO

## ウォシュレット® ネオレスト 施工説明書

NEOREST  
 ◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、洗浄水量を変更できます。(洗浄水量の切り替え(自治体によって洗浄水量の規制がある場合) 参照)

### 施工業者様へ

- 停電した場合、手動レバー(停電時便器洗浄用)で便器洗浄できます。

試運転時に、手動レバーでの便器洗浄の確認を行ってください。

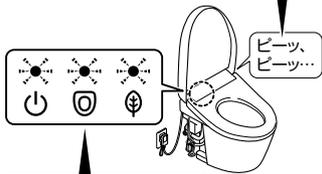
手動レバーが正しく取り付けしていない場合、次のように作動します。

電子音が鳴る(約30秒間)

手動レバー  
(停電時便器洗浄用)



電池ボックスは取りはずさないでください。



ランプが点滅: 緑色

便器部の施工説明書をご確認のうえ、必ず手動レバーを正しく取り付けてください。

- 従来のものとウォシュレット本体の仮置き状態が異なります。

ウォシュレット本体を便器に置いたとき、すき間がありますが問題ありません。



すき間があります。

### 同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

**リモコン部品**

※リモコンはいずれかが同梱されています。

ハンガー  
スティックリモコン  
ハンガー  
リモコン

「流すボタン」ラベル  
※リモコンの正面に「流す」ボタンがあるタイプは同梱されていません。

リモコン盗難防止用部品(取付説明書付)  
※必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。

乾電池(単3形×2本)  
ねじ(3本)  
アンカープラグ(3本)

**印刷物**  
取付ボルト(2本)

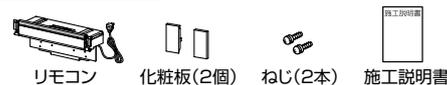
**ウォシュレット本体固定具**  
化粧カバー(ねじ付)

### 別包装部品

ビルトインリモコン部品 (ビルトインリモコン付のみ)

必ず実施 組み合わせ設定が必要です。

※ビルトインリモコンは手洗器、カウンター部材と同送されます。



### 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

禁表示の例 ⚠️ してはいけない「禁止」の内容です。 ⚠️ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

<b>⚠️ 警告</b>	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
●	浴室など湿気の多い場所には設置しない(火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
●	指定する電源(交流100V)以外では使用しない(火災や発熱の原因になります。)
●	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない(火災や感電の原因になります。)
⊘	水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない(故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
⊘	コンセントは給水位置の真下に設置しない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
●	給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
●	車輻・船舶など、移動体への設置はしない(火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)(便座・便いた・ウォシュレット本体などがはずれ落下し、けがをする原因になります。)
●	電源プラグは根元まで確実に差し込む(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)
⚠️	<2Pプラグの場合> ●アース(D種接地)を確実に取り付ける(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。) <3Pプラグの場合> ●必ず接地アース極付コンセントに差し込む(変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)

<b>⚠️ 注意</b>	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
●	便座・便いたを持って製品を持ち上げない(ウォシュレット本体がはずれ落下し、けがをする原因になります。)
⊘	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない(水漏れの原因になります。)
●	止水栓を開けたままで給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない(水が噴き出します。)
●	施工は施工説明書に従って確実に行う(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
⚠️	給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める(確実に締めないで水漏れの原因になります。)

### ⚠️ 注意 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 電池の+表示をよく確かめて入れる(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- 長期間使わないときは、リモコンや電池ボックスから電池を取り出しておく(電池の液漏れの原因になります。)

### 取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
3. 電源は交流100V(50/60Hz)です。下表をもとに、電力に適した配線をしているか確認してください。

機種	定格消費電力
DH1・DH2	1269W~1312W
AH1・RH1	1268W~1319W
AH2W・RH2W・AHW・RHW	1376W~1419W

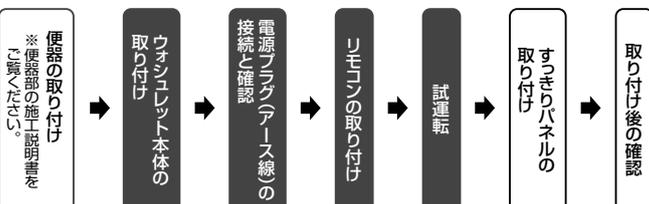
4. 電源コードの長さはウォシュレット:約1.0m、ヒーター付便器:約1.1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

### 施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けください。

(□は便器、■は本紙の施工説明書を参照ください。)



# 取付方法

●機種によっては製品の形状などが異なります。

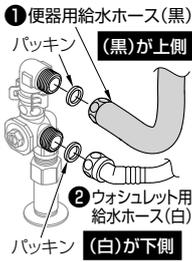
## 1 便器の取り付け

便器部の施工説明書に従い、便器を取り付ける

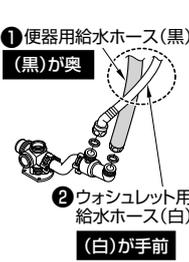
## 2 ウォシュレット本体の取り付け

### ② 給水ホースを給水金具に接続する

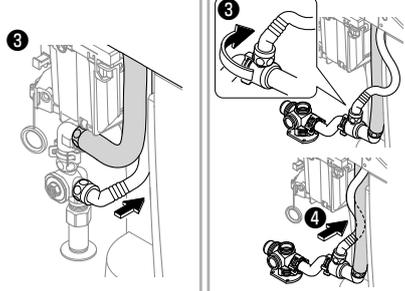
#### 床給水・壁給水の場合



#### 壁排水リモデルの場合

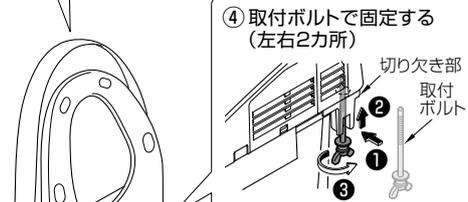


ウォシュレット用給水ホース(白)を便器内側にきちんと収めてください。(すっきりパネルがはずれる原因)



### ① ウォシュレット本体を便器に仮置きする

- ウォシュレット本体を便器に真上から置く
- 便座を閉じて、ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでしっかり押し下げる



### ③ コネクターを接続し、化粧カバーを取り付ける

ビルトインリモコン以外の場合  
コネクターが一つ残ります。化粧カバーの内側に収めてください。

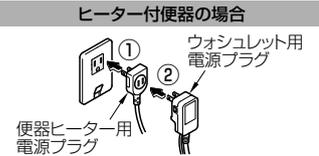
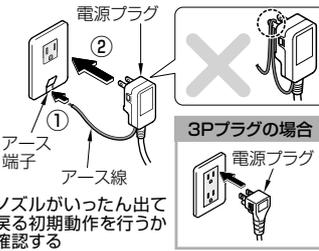


### ウォシュレット本体を取りはずす場合、下記の手順で行ってください。

- 便座・便ふたを開ける
- お掃除リフトボタンを押す  
お掃除リフトボタン・ウォシュレット本体の前側が上がります。
- 取付ボルトで固定している場合  
取付ボルト(左右2カ所)を取りはずす
- お掃除リフトボタンを引いたまま  
ドライバー
- ウォシュレット本体を上を持ち上げて取りはずす

## 電源プラグ(アース線)の接続と確認

**お願い** ノズル伸出口にテープが貼っている場合は、はがしてください。  
[ノズル伸出口] テープ



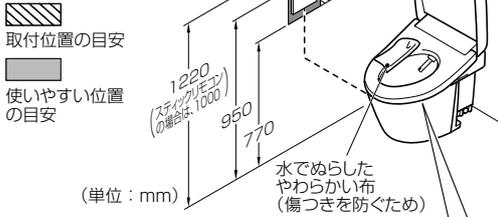
電源プラグを差し込んだあと、次のように作動した場合、手動レバーが正しく取り付けられていません。



便器部の施工説明書をご確認のうえ、必ず手動レバーを正しく取り付けてください。

## リモコンの取り付け

- リモコンに乾電池を入れる
- 取付位置を決める



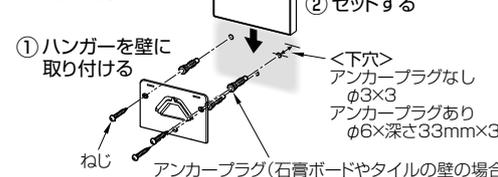
### 【作動の確認】

- 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる  
スイッチ ON! ↓
- 「おしり」ボタンを押して、ノズルが伸出することを確認する
- 「止」ボタンを押す

#### 作動しない場合

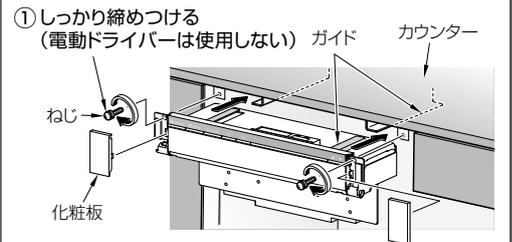
- リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
- ※ 下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
  - 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
  - 天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
  - 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
  - インバーター方式の照明下のとき

### 3 ハンガーの取り付け

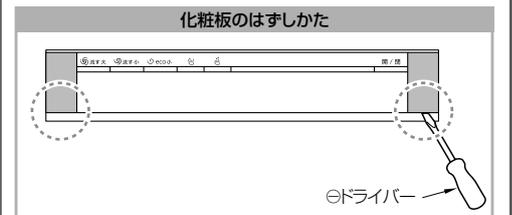


### ビルトインリモコンの場合

※傷つきに注意  
詳細はビルトインリモコンに同梱の施工説明書に従い、取り付けを行ってください。



- 電源プラグを差し込む  
ビルトインリモコンが点滅します。



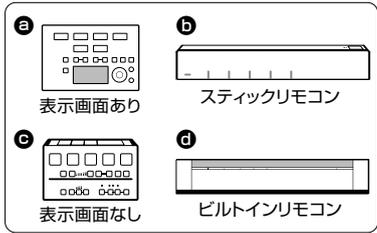
## 必ず実施 組み合わせ設定が必要です

同梱の「組み合わせ設定」説明書または、ビルトインリモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

# 洗浄水量の切り替え(自治体によって洗浄水量の規制がある場合)

●自治体によって洗浄水量の規制がある場合、  
床排水：大洗浄3.8L、小洗浄3.3L、eco小洗浄3.0L仕様  
壁排水：大洗浄4.8L、小洗浄3.6L、eco小洗浄3.4L仕様  
を次の水量に変更することができます。

※リモコンによって設定方法が異なります。



- ①「止」ボタンを10秒以上押す  
(a b d) 「施工者モード」画面が表示されます。  
(c) リモコンのランプが全点滅します。
- ② (a b) ◆で「便器洗浄水量切替」を選び (決定) または (c) 押す  
(c) ③へ進む  
(d) 「便器洗浄水量切替」ボタンを押す  
●「便器洗浄水量切替」画面が表示されます。

	大洗浄6L、小洗浄5L、eco小洗浄4.5L仕様への切り替え	大洗浄8L、小洗浄6L、eco小洗浄4.5L仕様への切り替え
(a b)	◆で「便器洗浄水量切替①」を選び (決定) または (c) 押す	◆で「便器洗浄水量切替②」を選び (決定) または (c) 押す
(c)	水勢 (+) と (決定) を同時に押す	水勢 (+) と (決定) を同時に押す
(d)	「水量切替①」ボタンを押す	「水量切替②」ボタンを押す

➡ (a b c d) 「ピッ」という電子音が鳴ります。

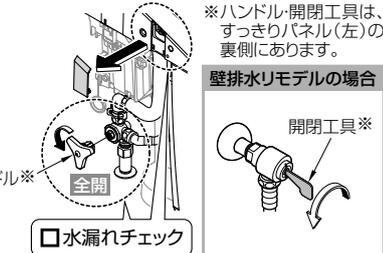
- ④「止」ボタンを押す ※もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、③で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。

## 試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

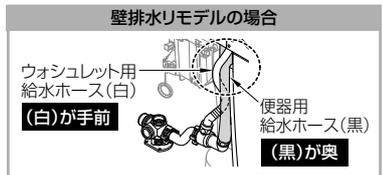
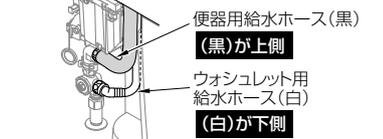
●試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

### 1 ウォシュレット本体の確認

□止水栓を開ける



□給水ホースの接続を間違えていませんか



□便器に水が流れていませんか

便器に水が流れている場合

電源プラグをコンセントに差し込んでください。  
●水が止まります。  
※電気工事が未完了のときは、電池ボックスに乾電池を入れて、電池ボックス用コードをプラグ差し込み口に差し込んでください。

- 1 取り出す
- 2 電池ボックスに乾電池(2本)を入れる
- 3 電池ボックス用コードを袋の外に出す
- 4 差し込む
- 5 電池ボックス用コードを抜き、乾電池を取り出した後、電池ボックスとコードを袋にもどす

□自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか

□組み合わせ設定を行いましたか (ビルトインリモコン付のみ)

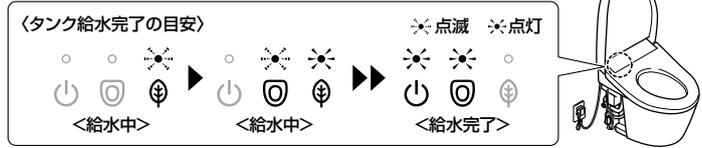
□運転ランプが点滅していませんか  
→凍結防止が「入」に設定されています。  
※仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。  
●凍結防止を「入」にすると、右記のように作動します。



### 2 機能の確認

□便器洗浄しますか

※便器に内蔵しているタンクに水が溜まっていないと便器洗浄できません。  
●「便器洗浄」ボタンを押すと便器に水を流しながらタンクに給水します。(最大約80秒)  
その間はすべてのボタンを押さないでください。  
給水完了後、再度「便器洗浄」ボタンを押して便器洗浄の確認を行ってください。



□手動レバーで便器洗浄しますか

※電源プラグを差し込んで約60秒以上たってから、確認を行ってください。

電源プラグを差し込んだあと、次のように作動した場合、手動レバーが正しく取り付けられていません。

電子音が鳴る(約30秒間)  
ピーッ...  
ピーッ...

ランプが点滅：緑色

便器部の施工説明書をご確認のうえ、必ず手動レバーを正しく取り付けてください。

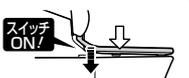
- 1 電源プラグを抜く
- 2 手動レバーを止まる位置まで引き続ける(約30秒)  
●便器の水たまり面が上昇します。
- 3 「ピーッ」という電子音が鳴り、給水が止まったら手動レバーをはなす  
●便器の水が流れます。  
※便器洗浄後、または途中で手動レバーをはなすと、約60秒間は便器洗浄できません。約60秒以上たってから、もう一度便器洗浄してください。

4 電源プラグを差し込む

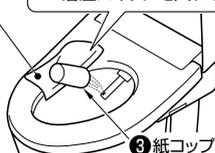
□ノズルから洗浄水が出ますか

1 水でぬらしたやわらかい布(傷つきを防ぐため)

【作動の確認】  
2 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



4 「おしり」ボタンを押す  
5 「止」ボタンを押す



3 紙コップ

□リモコンで便ふたがきちんと開きますか (オートふた開閉付きのみ)  
※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合

- 1 障害物を取り除く  
※便ふたとケースカバーの間に緩衝材がある場合は、取り除いてください。
- 2 電源プラグを抜き、約5秒後に差し込む
- 3 リモコンの「便座開閉」ボタンを押す

## 給水フィルターの掃除（試運転後）

【便器側】

1



壁排水リモデルの場合



※ハンドル・開閉工具は、すっきりパネル(左)の裏側にあります。

2 「ノズルきれい」ボタンまたは「ノズルそうじ」ボタンを押す

- 「ノズルそうじ」ボタンを押したときは、もう一度「ノズルそうじ」ボタンを押し、ノズルを戻してください。

■スティックリモコンのとき  
リモコン裏面のボタンで操作します。

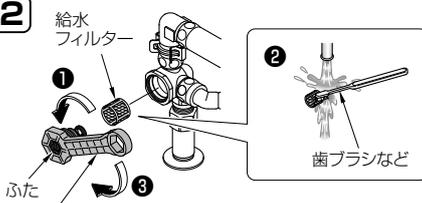
1. 押す
2. で「お手入れ」を選び 押す
3. で「ノズルそうじ開始/停止」を選び 押し、ノズルを出した後、もう一度 押し、ノズルを戻す

■ビルトインリモコンのとき

1. 押す<操作面1画面目>
2. 押す

※給水管内の圧抜きです。

2

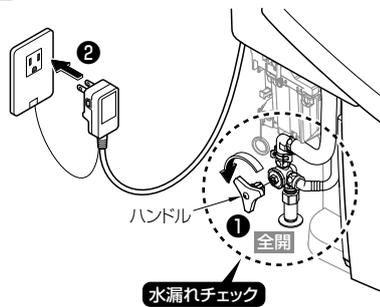


**注意**  
確実に締めないと水漏れの原因になります。

壁排水リモデルの場合



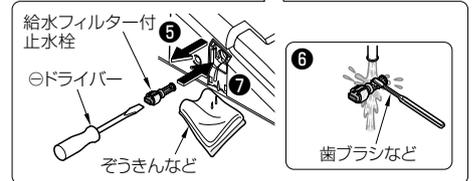
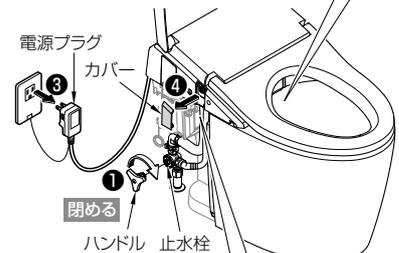
3



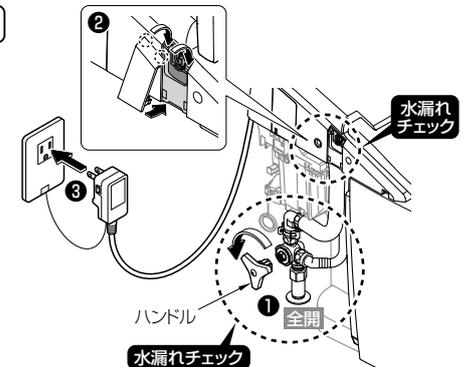
【ウォシュレット側】

1

2 ノズルを出す→左記【便器側】1-2参照



2



## 製品引き渡しまでの期間が長い場合

1

■流動方式のとき  
止水栓を閉める

■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき  
水抜栓を操作して、給水を止める

お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。

2

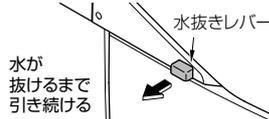
配管の水を抜く

（給水フィルターの掃除（試運転後）

【ウォシュレット側】1-2③④⑤⑦参照）

※電源プラグは抜いたままにしておいてください。

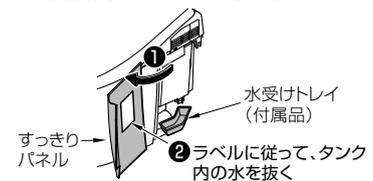
3 ウォシュレット内の水を抜く



- ノズル付近から水が便器内にでます。水が完全に抜けるまで約20秒かかります。

4

■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ  
便器内のタンクの水を抜く



■凍結のおそれがあるときは  
・便器のたまり水に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

## 施工業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。
- 連立対応について (URL) [http://search.toto.jp/contents/navi/「施工情報」-「ウォシュレット」の欄「ウォシュレットリモコン連立対応方法」](http://search.toto.jp/contents/navi/「施工情報」-「ウォシュレット」の欄「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。)をご覧ください。
- ハンドル・開閉工具は施工後もとの位置に取り付けてください。
- ヒーター付便器の場合、付属の水受けトレイは使用後お客様にお渡しください。